



# 2019年日本のうたごえ祭典・京都 全国合唱発表会・オリジナルコンサート 開催要項（案）

（第一次・2019年2月24日）

日本のうたごえ全国協議会  
合唱発表会小委員会  
創作部会オリジナルコンサート事務局  
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-16-36  
TEL 03-3200-0106 FAX 03-3200-0193  
E-MAIL info@utagoeg.jp

## 【はじめに】

1957年、日本のうたごえ祭典第1回「コンクール形式による合唱発表会」が行なわれ今年で57回を迎えます。この合唱発表会は全国のサークル・合唱団が、演奏を通じて交流し学び合い、研鑽し、うたごえを広く大きくすすめていく力とする場として取り組んできました。2018年31都道府県、1ブロック、7産別、1階層で行われ、1,537団体の参加を得ることができました。全国合唱発表会には290団体（オリジナルコンサートを含む）が参加し、豊かな演奏交流が行われました。2019年度も、うたごえサークル・合唱団がいっそう地域に目をむけ、企画にも工夫をこらすなどしながら、可能な限り広く、うたごえ団体をつくり、参加を呼びかけていきましょう。

また、合唱発表会参加のみなさんが「2019年日本のうたごえ祭典・京都」“ねがいでつなぐ3つの音楽会&1万人の大うたごえ会”（11月30日（土）・ロームシアター京都）へも必ず参加されるよう、早くから参加準備を進めましょう。

## 【予選期間と結果報告・申込書提出について】

各都道府県・産業別の合唱発表会予選は、本選6週間前までに終了することを基本としますが、

①2019年は、10月14日（月・祝）までに終えてください。（通常の11月開催に戻ります）

②各都道府県、産別協議会は予選終了後、ただちに合唱発表会結果報告書と、推薦団体名簿を、部門別に送付して下さい。

③全国推薦団体は、推薦決定から1週間以内に、申込書を送付して下さい。

最終10月15日（火）にすべての項目を完全に記入の上で必着です。

〆切を過ぎての受付はできません。

最終週に開催のところは、事前に、提出書類の準備をお願いします。

④各府県、産別協議会は、オリジナルコンサートへの推薦がある場合、合わせて報告して下さい。

なお、オリジナルコンサートの出場申込手続き等については、添付の開催要項をご覧ください。

また、オリジナルコンサートへの出場以外でも、創作曲の場合は、申込書の「創作」の欄にチェックをつけてください。

申込書は、出場団体の基礎的なデータ、出演順を決める上での大切な資料になります。すべての項目にわたり正確に記入し、迅速に送付をお願いします。

（FAX または E-mail をお願いします。E-mail ですとその後の情報交換も迅速に行えます。ご協力下さい）

## 【2019 年全国合唱発表会開催要項】（案）

### ①全国合唱発表会の部門は次の通りです。

#### ●コンクール形式の部門（点数をつけて審査し順位をつけて発表します）

- ◆一般の部 A = 歌い手 10 人～19 人までの団体（ただし、曲によって人数が変わる場合は多い方）
- ◆一般の部 B = 歌い手 20 人以上の団体
- ◆職場の部（人数は指揮者、伴奏者を含め 6 人以上の団体）
- ◆女性の部（人数は指揮者、伴奏者を含め 6 人以上の団体）
- ◆小編成の部（指揮者、伴奏者を含め 10 人以下で日常そのグループで演奏活動を行っている団体。独唱、器楽演奏のみは除きます）

\*各都道府県での推薦時点で、いずれの部門に出場するかを決定してください。

\*当日の演奏が、人数規定に該当していない場合は、審査対象外とします。

\*今年度は、一般の部 B について、歌い手人数が、当日 20 人に満たない場合も、審査対象とします。同様に、一般 A についても人数が 10 人に満たない場合も審査対象とします。

#### ●合唱交流の部門

交流を中心とした部門です。点数を付けた審査、表彰はありません。講評委員をおき講評をします。モニター用紙を活用し、参加者同士が講評し合います。演奏時間 6 分 30 秒以内の他は出場条件の制限はありません。但し、独唱、器楽演奏のみは除きます。各協議会の推薦が必要です。

◆交流の部①=11/29（金）京都市東部文化会館

◆交流の部②=12/1（日）京都教育文化センター ※または京都市内ホール

### ②全国合唱発表会出場団体は都道府県又は産業別の合唱発表会・交流会などを経て推薦されます。全国合唱発表会への推薦数の基準は次の通りです。

※全ての都道府県での合唱発表会・交流会の開催を目指しますが、やむを得なく開催できなかった県は、全国協議会にご相談ください。

※推薦方法は各協議会でご検討下さい。

#### ◆コンクール形式(合唱～一般A、一般B、女性、職場)の部門への推薦

コンクール(合唱の各部門)は、各県の発表会・交流会の総参加団体数に応じて、下記の割合で推薦ができます。

予選参加団体数	→	全国推薦団体数	予選参加団体数	→	全国推薦団体数	
2～13	→	1	31～40	→	4	以下 13 団体 につき 1 団体 増とします
14～20	→	2	41～50	→	5	
21～30	→	3	51～63	→	6	

(地域予選を開催するところは地域予選の参加団体数の合計とします)

※コンクール部門への出場は単位団体で恒常的に活動している団体とします。(合同合唱団、記念合唱団などは交流の部への推薦をお願いします)

#### ◆コンクール形式(小編成)の部門への推薦

小編成の部は、上記の推薦団体の他に、小編成グループの予選参加団体の数に応じて、下記の割合で推薦ができます。

予選参加団体数	→	全国推薦団体数	予選参加団体数	→	全国推薦団体数	
1～13	→	1	31～40	→	4	以下 13 団体 につき 1 団体 増とします
14～20	→	2	41～50	→	5	
21～30	→	3	51～63	→	6	

(地域予選を開催するところは地域予選の参加団体数の合計とします)

※コンクール部門への出場は単位団体で恒常的に活動している団体とします。

#### ◆合唱交流の部門への推薦

交流の部は、各県の特徴ある団体の演奏を交流することを目的として設けられました、都道府県協議会、産業別協議会から、コンクール部門への推薦とは別に、特徴ある全国へ紹介したい団体を、各県の発表会・交流会の総参加団体数に応じて、下記の割合で推薦ができます。

予選参加団体数	→	全国推薦団体数	予選参加団体数	→	全国推薦団体数	
1～15	→	1	46～60	→	4	1 都道府県で 5 団体を越 えないこと
16～30	→	2	61～以上	→	5	
31～45	→	3				

また、祭典開催地については、「開催地枠」として、通常の枠に加えて、最大5団体までの追加推薦枠を認めます。

**\*各都道府県での推薦時点で交流①11/29（金）・交流②12/1（日）のいずれに出場するかを決定してください。**

**希望が偏るなど状況によっては、調整をお願いする場合がありますので、ご了承ください。**

#### ◆準推薦について

推薦団体が全国出場を辞退した場合、都道府県・産別協議会は、準推薦団体を繰り上げ出場させることができます。各予選で準推薦団体を若干数選出してください。

③予選の審査委員は開催地でお決めください。ただし、日本のうたごえ全国協議会推薦の審査員が1名以上加わることにします。小委員会にご相談下さい。

④演奏時間は、演奏開始から終了まで曲間も含め6分30秒以内とします。時間を厳守して下さい。

※全国の発表会では、交流の部についても演奏時間を計ります。時間オーバーの団体は、団体名を公表します。

⑤電気楽器使用の団体はあらかじめ事務局とご相談ください。

⑥合唱発表会は出場団体による参加分担金で運営されます。分担金の算出法は別に定めます。

**※参加分担金は団体ごとに事前の入金をお願いします。（当日の変更については「精算所」で対応します）**

#### ⑦楽譜の提出について

コンクール部門への出場団体は演奏曲の譜面7部を期日通りに提出をお願いします。楽譜提出の際には音楽著作権を尊重するようお願いいたします。合唱交流の部は楽譜の提出は不要です。

#### ⑧「要員」について

全国合唱発表会の運営は、それぞれの出場部門で、全参加団体から出ていただく要員によって行われます。要員登録用紙で要員の名前を登録してください。要員の任務時間は、開演1時間前～終了までです。団体内で交代していただいても結構ですので、1名分の最初から最後までまでの任務分担をお願いします。集合時間の開演1時間前に、全体の打合せを行ってから任務についていただきます。

\*要員は、出演・リハーサル時間以外、終日拘束となりますので、参加分担金免除とします。また、食事時間をまたがる場合には、弁当を支給します。（不要の場合はご連絡ください。）

**\*要員の出ない団体は、出場できません。**

★また、開催地など各都道府県協議会の協力のもと、特別要員を要請することがあります。

★タイムキーパー、リハ室管理、など部署により、それぞれの出場部門以外で、アルバイト要員も募集します。事務局にご相談ください。

## 【コンクール審査および講評について】

コンクール部門では各審査員の評点に基づき入賞団体を決め表彰します。評点は公表されます。入賞団体は各部門参加団体数の3分の1を目安とします。

賞は「金賞」、「銀賞」、「銅賞」とします。その他審査委員会の合意で表彰することもあります。講評はそれぞれの団体から学ぶべき点、よりよい演奏創造のための課題と方向を示します。

※時間オーバー、楽譜の未提出（交流の部を除く）、人数基準を満たさない団体は、講評はされませんが表彰の対象外となります。

### 〈審査の観点〉

- ①内容、選曲の意図を正しくとらえ演奏を通して聞き手に十分伝えているか。
- ②人数にふさわしい声と、内容にふさわしい声で表現できているか。
- ③正確な音程、リズム、ハーモニーでうたっているか。
- ④指揮、伴奏は歌い手の力を十分引き出し演奏をつくり出せているか。

## 【審査結果の発表について】

入賞団体はうたごえ新聞紙上・全国協議会ホームページで発表します。各部門の総評はうたごえ新聞に、各団体ごとの審査結果（評点）と個別評はホームページ等でお知らせします。

入賞団体の表彰状、各審査委員・講評委員の講評用紙とモニター用紙は後日直接各団体にお送りします。

---

2019年日本のうたごえ祭典・京都 日程案 (2019年2月現在)

日程案	部門	時間	会場	席数	
11/29 (金)	一般B／※夜は音楽会リハーサル	12:00～17:00	ロームシアター・メインH	2,000	
	女性／※夜は音楽会リハーサル	12:00～17:00	ロームシアター・サウスH	716	
	オリジナル	14:00～19:00	京都こども文化会館	600	
	交流①	14:00～19:00	京都市東部文化会館	600	
11/30 (土)	音 楽 会	I ★手をつなごう	11:00～12:30	ロームシアター・メインH	2,000
		II ★生きること、働くこと	15:00～16:30		
		III ★平和のバトン	19:00～20:30		
	大うたう会	12:00～18:30	ロームシアター・ノースH	200	
	パフォーマンス広場	10:00～18:30	ロームスクエア	∞	
12/1 (日)	一般A	10:30～17:00	ロームシアター・メインH	2,000	
	職場	10:30～16:30	ロームシアター・サウスH	716	
	小編成	10:30～16:30	ロームシアター・ノースH	200	
	交流②※	10:30～16:30	京都教育文化センター	360	

※交流②の会場について、京都市の文化センターもあたる。とれたら、小編成を教育文化センターへ。

※合唱発表会・オリジナルコンサートの開場は、開演の30分前、リハーサルは20分前を予定しています。

開始、終了時間は、前年例を基にした予定です。出演団体数が確定して、正式決定になります。

※音楽会 I ★手をつなごう、II ★生きること、働くこと、III ★平和のバトン 1、大うたう会、パフォーマンス広場、は、祭典実行委員会主催です。

あわせて、ぜひ、ご参加ください。それぞれ、参加費が、別途必要です。

【各会場へのアクセス・最寄り駅】

◆ロームシアター京都

⇒京都駅～地下鉄烏丸線「烏丸御池」乗り換え～東西線「東山」駅下車・1番出口～徒歩約10分

⇒京阪電鉄「神宮丸太町」駅下車・2番出口～徒歩約13分

◆京都こども文化会館⇒市バス「北野天満宮前」下車～徒歩5分

／市バス「千本中立売」下車～徒歩10分

◆東部文化会館⇒地下鉄東西線「栂辻」駅下車・1番出口～徒歩7分

◆京都教育文化センター⇒京阪電車「神宮丸太町」駅下車・5番出口～徒歩3分

【会場間移動時間】

★ロームシアター京都～東部文化会館 徒歩～地下鉄「東山」～「栂辻」～徒歩で約40分

★ロームシアター京都～京都こども文化会館 徒歩～市バス「東山二条」～「千本中立売」～徒歩で約40分

★京都こども文化会館～東部文化会館

～徒歩～市バス「千本中立売」～「二条駅前」～地下鉄「二条」～「栂辻」～徒歩で約60分

★ロームシアター京都～京都教育文化センター 徒歩11分